

## 重点地区景観計画 御幸通り周辺地区

---

# 重点地区景観計画 御幸通り周辺地区

<p>■地区の名称 御幸通り周辺地区</p>	
<p>■地区の区域及び面積 (法第8条第2項第1号)</p> <p>□地区の区域 主要地方道井川湖御幸線 (国道1号～中町交差点) ※道路区域端から10mの等距離線の区域のうち、景観計画重点地区駿府城公園周辺地区の区域を除く、右の区域図に示す区域</p> <p>□面積 約4.1ha</p>	
<p>■指定年月日 令和2年4月1日</p>	
<p>□ : 地区の区域</p> <p>▨ : 静岡駅前から江川町交差点</p> <p>▩ : 江川町交差点</p> <p>▪ : 江川町交差点から中町交差点</p>	

## 1. 景観形成の目標及び方針 (法第8条第3項)

### 1) 景観形成の目標

静岡市の玄関口にふさわしい、駿府の風格と都市の賑わいを感じる景観づくり

御幸通りは、本市の玄関口であるJR静岡駅と駿府城跡や官公庁街、浅間神社参道を結ぶ、歴史的要素と文化的要素を合わせ持った、本市の象徴といえる重要な路線です。

一方で、駿府城を中心とした駿府城下町の歴史的骨格を持つ静岡市中心部と、駅を中心とした近代的な都市構造との融合を果たすため、昭和初期の都市計画により整備された近代化の象徴といえる路線であり、現代的な都市基盤整備や商業、業務施設の集積が進められてきました。

このため、駿府城跡が醸し出す歴史文化の風格とともに、来街者が行き交う賑わいのある駿府百年の計の景観づくりを進めます。

## 2) 景観形成の基本方針

### ①駿府から静岡までの都市の変遷や歴史的背景を尊重

御幸通りの各エリアにおける歴史的な位置付けや都市構造を形成した経緯を尊重すると共に、静岡駅と駿府城跡を結んだ御幸通りの歴史的背景を重視し、双方の存在をより近づける景観まちづくりを推進

### ②駿府の歴史文化の資産を活かす

御幸通りに江戸期の伝統色を落とし込むことなどにより、駿府と静岡との調和を図ると共に、石垣や緑などの歴史文化資産を印象付けることで、駿府城跡が醸し出す歴史文化の風格を感じる景観まちづくりを推進

### ③来街者が行き交う賑わい景観の創出

賑わう人々が演出する良好な都市景観を形成するため、歩きたくなる御幸通りを目指し、静岡駅、駿府城公園、浅間神社及び商業エリアの回遊性を高める歩行者にやさしい景観まちづくりを推進

## 景観形成の基本方針のポイント

### ○都市構造の可視化

J R静岡駅と駿府城跡が近接し、駿府時代の町割りも残ることが特徴的な都市構造である。この特徴を可視化し、洗練することで、より静岡らしい景観まちづくりを推進する。

### ○静岡らしさの磨き上げ

駿府城公園が持つ緑を周辺に滲みだすことで、駿府城公園の印象を共感でき、J R静岡駅と駿府城公園の視覚的な近接性により静岡独自の景観を形成する。

### ○緑の拠点の形成

駿府城公園が持つ歴史文化や風格を緑に託し、主要な交差点に緑の拠点を形成する（特に静岡駅からピスタ※としての役割を担う江川町交差点）ことで、駿府城公園が持つ風格を通りに落とし込むと共に、公園を感じ、誘う景観形成を推進する。

### ○歩道空間の景観形成

風格ある駿府城公園の沿道景観として、歩道空間は、緑、色彩により歴史性、賑わいを兼ね備えた景観形成を推進する。



※ピスタ：両側に並木や建築物などが並んだ奥行きのある深い眺めのこと。「通景」や「見通し景観」などともいう。

### 3) 景観形成の分野別方針

#### ①歴史文化資産に関する方針

歴史文化資産の核である「駿府城跡」の石垣やお堀、緑の見える景観が通りの誇りであることを理解し、それらを尊重し、借景し、活かす景観へと誘導することで、御幸通りから外堀、中堀、駿府城公園内へと人々を誘う、歴史文化を感じる風格のある景観を形成する。

#### ②緑化に関する方針

主要な交差点にアイストップ\*となる高木を植樹することで、駿府城公園から滲み出した緑を演出し、通りに駿府城跡の存在を印象付け、歴史文化を感じる風格のある景観を形成する。

#### ③道路に関する方針

歩いて楽しい歩行者にやさしいユニバーサルデザイン\*のまちづくりを第一に考え、歩行や景観を阻害する要素を整理することで、既存の歩道空間を最大限に活用する。また、通過交通量の縮減や歩行空間の充実、交差点の平面横断化を図ることで、回遊性が高く、歩行者や自転車優先の賑わいを感じる道路景観を形成する。

#### ④沿道に関する方針

建築物の形態や色彩等について一定のルールを設け、官民一体となった良好な景観形成を推進する。また、沿道の店舗等の賑わいや潤い、光り、香り等を歩道に効果的に演出することで、訪れる人に“おもてなし”を感じさせる魅力ある沿道景観を形成する。

#### ⑤屋外広告物に関する方針

撤去を中心とした誘導ではなく、御幸通りの風格や歴史文化資産を阻害しないよう、一定のルールを設けることで、屋外広告物の機能やまちの賑わいを維持しつつ、魅力ある景観を形成する。

#### ⑥色彩に関する方針

風格や歴史文化資産を阻害しないよう、沿道の建築物や工作物、道路、屋外広告物等の色彩誘導を図る。また、江戸期の伝統色を基調とし、「綺麗さび\*\*」の美をまちに落とし込むことで、歴史文化を感じる風格のある景観を形成する。



※アイストップ：見通しの良い通り景観の正面にあり、人の視線を引きつけ又は印象に残る建築物、樹木などのこと  
※ユニバーサルデザイン：年齢や障害の有無、体格、性別、国籍などにかかわらず、すべての人にわかりやすく、利用しやすいデザインのこと

※綺麗さび：誰からも美しいと云われる客観性の美、調和の美を示す美的観念で、この言葉を用いた人物は、茶人であるにも関わらず、作事奉行として駿府城の建設に関わった「小堀遠州」という茶人であることから、駿府のまちとは深い縁のある言葉と考えられます。

## 2. 地区別の景観形成方針及び基準（法第8条第2項第2号、第3項）

御幸通り景観形成方針に基づく良好な景観形成を推進するため、同方針が景観形成の対象としている「JR静岡駅前」から「中町交差点」までのエリアを、性格の異なる3つの地区に分割し、地区の特徴や役割に応じた地区別の方針及び基準を策定する。

### JR静岡駅前から江川町交差点

#### 地区別方針

◆賑わいの中にも歴史文化や風格を感じさせる都市的な景観形成を推進すると共に、その先にある駿府城跡を感じさせ、誘う景観形成を推進する。

### 江川町交差点

#### 地区別方針

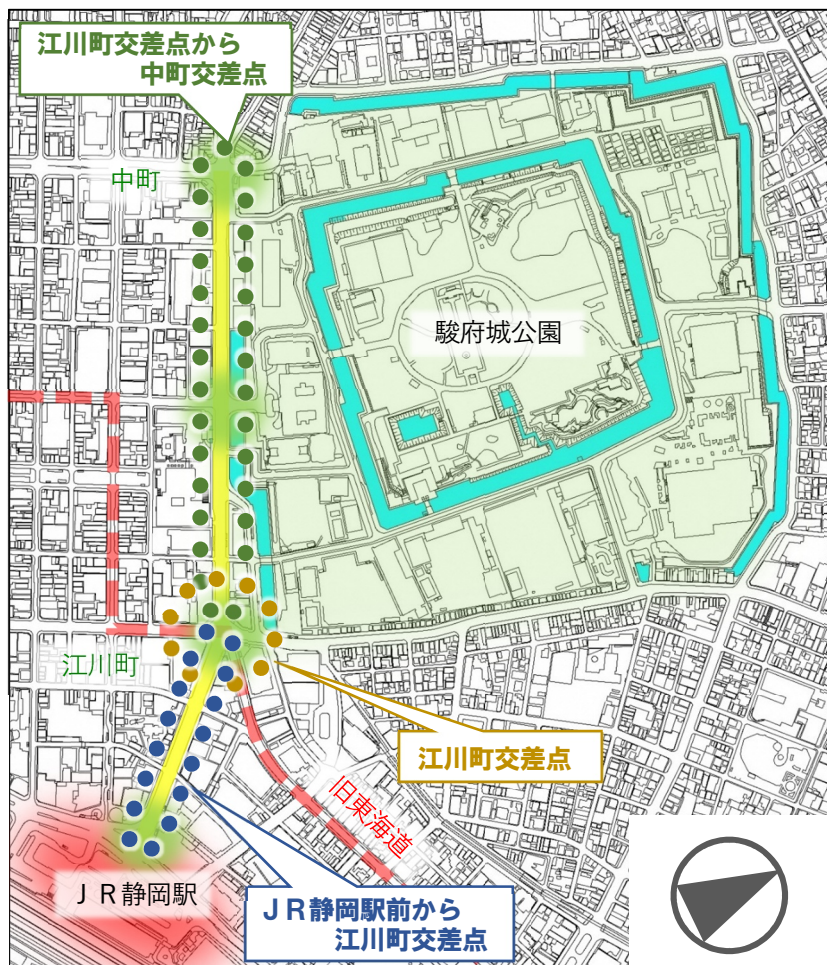
◆駿府城公園周辺エリアであり、御幸通りから駿府城公園へ誘う重要な結節点であることから、隣接する駿府城跡を感じさせる景観形成を推進する。

◆駿府町割りにおいて、重要な役割を持つ五叉路であることや駅からの視覚的近接性を可視化していく景観形成を推進する。

### 江川町交差点から中町交差点

#### 地区別方針

◆現存する駿府城跡のお堀の石垣や水、緑が醸し出す歴史文化や風格と調和し、活かす景観形成を推進する。



# 御幸通り景観形成基準

～ J R 静岡駅前から江川町交差点～



「御幸通り景観形成方針」における景観形成の目標を実現するため、景観形成の基本方針及び分野別方針に基づく以下の景観形成基準により具体的な景観誘導を行うことで、短期、中期、長期及びその先の百年の計を目標とした景観形成を推進すると共に、後世に誇れる駿府の風格と都市の賑わいを感じる景観形成を段階的に推進する。

## 「J R 静岡駅前から江川町交差点」の地区別方針

賑わいの中にも歴史文化や風格を感じさせる都市的な景観形成を推進すると共に、その先にある駿府城跡を感じさせ、誘う景観形成を推進する。

## 景観形成基準

### 1) 建築物の 外壁・屋上

- 駿府城跡へ誘う重要な地区であることから、静岡市の玄関口としてののにぎわいを創出すると共に、建築物の形態、色彩、意匠は、まち並みと調和、統一感のあるものとし、また、駿府城跡が醸し出す歴史文化や風格にふさわしいデザインとするよう努める。
- 御幸通りから見える低層部の壁面は、外壁形状、素材もしくは色彩にて分節し、周辺とその高さを揃えることで、まち並みとの調和及び一体性を図ると共に、江川町交差点への良好なビスタ\*を形成するよう努める。
- 御幸通りから見える建築物の側面は、正面の外壁と同様の材質を使用するなど、沿道景観への配慮を行う。
- 建築物の屋上や御幸通りに面する外壁は、周辺建築物等からの潤いのある見下ろし景観や沿道景観を形成するため緑化に努める。

\*ビスタ：両側に並木や建築物などが並んだ奥行き深い眺めのこと。「通景」や「見通し景観」などともいう。

2) 建築物等の色彩	<p>○建築物の屋根及び外壁等の色彩並びに工作物の外観の色彩は、別表の伝統色を使用するものとする。</p> <p>ただし、着色していない木材、石及びコンクリート等の材料で仕上げられる部分の色彩並びに静岡市景観計画に基づく静岡市景観アドバイザーへの相談等により、市が支障なしと認めた色彩については、この限りでない。</p>
3) 沿道空間	<p>○駿府城跡へ誘う重要な地区であることから、駿府城跡の存在を印象付ける緑を御幸通りに演出するため、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・御幸通りに面した1階部分の店舗等は、鉢植えなどによる自主的な緑化に努める。</li> <li>・御幸通りに面する空地部分は積極的な緑化を図る。</li> </ul> <p>○御幸通りに面した1階部分は、物販、店舗、サービス施設等のにぎわいを創出する用途とするよう努める。</p> <p>○御幸通りに面した1階部分は、ショーウィンドウ*を設け、シャッターをシースルー化*することで、まちのにぎわいの演出に努める。</p> <p>○御幸通りに面する低層部分は、ショーウィンドウや照明の活用により、昼夜ともに魅力ある景観の演出に努める。</p> <p>○御幸通りに面したオープンスペース*は、通りににぎわいや華やかさを滲みだす空間となるよう効果的な演出に努める。</p> <p>○通りの先にある駿府城跡を感じ、誘う景観を形成するため、歩道上への所有物(ゴミ入れ、置き看板など)の設置や路上駐輪をすることがないように、敷地内にそれらのスペースを確保することで、歩道の美観とゆとりある歩行者空間の形成に努める。</p>
4) 建築設備など	<p>○建築設備や屋外階段は、建築物と一体的なデザインとすると共に、御幸通りから見えない位置に配置するよう努める。</p> <p>○御幸通りから見える位置に建築設備や屋外階段を配置する場合は、それらが直接見えないよう植栽や建築物の外壁と調和したルーバー*等により修景を行う。</p>
5) 照明設備など	<p>○建築物や植栽、ストリートファニチャー*等をライトアップすると共に、隣接する相互の照明との調和を図り、連続性のある魅力的な夜間景観の演出に努める。</p>
6) 屋外広告物	<p>○屋外広告物は、効果的な掲出を行うよう文字、色彩、大きさ、設置位置等を十分検討すると共に、魅力的な店先やまち並みを演出するよう努める。</p> <p>○複数の店舗等を所有する建築物は、それら店舗等が効果的でまち並みと調和した屋外広告物を掲出できるよう、建築物の形態、意匠と合わせ、屋外広告物の掲出場所や方法を計画するよう努める。</p> <p>○御幸通りに面した1階部分には、それら店舗等の情報を集約した集合看板を設け、魅力的な沿道景観の形成により集客するよう努める。</p>
7) その他	<p>○御幸通りに面する工事用仮囲いは、まち並みやにぎわいの連続性に配慮し、修景するよう努める。</p> <p>○自動販売機は、御幸通りに直接面して設置しない。(ただし、景観上の配慮されている場合を除く)</p>

※ショーウィンドウ：店頭などに設置された商品などを陳列して通行人に見せるためのガラス張りの窓

※シースルー化：シャッターによる閉鎖部分にパイプなどを使用することで、閉鎖後も透過性を確保すること

※オープンスペース：敷地内において建物が建っていない部分の空地のこと

※ルーバー：建築物の屋上の塔屋や建築設備などの目隠しのために縦または横に組んで取り付けられた羽板のこと

※ストリートファニチャー：道路や道路沿いに設置されたベンチ、掲示板、彫刻、噴水などの屋外設備など

# 御幸通り景観形成基準

## ～江川町交差点～



「御幸通り景観形成方針」における景観形成の目標を実現するため、景観形成の方針及び方向性に基づく以下の景観形成基準により具体的な景観誘導を行うことで、短期、中期、長期及びその先の百年の計を目標とした景観形成を推進すると共に、後世に誇れる駿府の風格と都市の賑わいを感じる景観形成を段階的に推進する。

### 「江川町交差点」の地区別方針

- ◆駿府城公園周辺エリアであり、御幸通りから駿府城公園へ誘う重要な結節点であることから、隣接する駿府城跡を感じさせる景観形成を推進する。
- ◆駿府町割りにおいて、重要な役割を持つ五叉路であることや駅からの視覚的近接性を可視化していく景観形成を推進する。

### 景観形成基準

#### 1) 建築物の 外壁・屋上

- 江川町交差点は、御幸通りから駿府城公園へ誘う重要な結節点であり、旧東海道が交差する歴史性の高い五叉路であることから、建築物の形態、色彩、意匠は、隣接する駿府城跡の外堀の石垣や水、緑が醸し出す歴史文化や風格を優先し、それらと調和し、活かすデザインとするよう努める。
- 江川町交差点が、JR静岡駅からのビスタ<sup>\*</sup>や駿府城跡への視覚的近接性の形成に重要な役割を担うことを意識し、御幸通りのアイストップとなる建築物の形態、色彩、意匠は、隣接する駿府城跡の歴史文化や風格にふさわしいデザインとするよう努める。
- 御幸通りから見える建築物の側面は、正面の外壁と同様の材質を使用するなど、沿道景観への配慮を行う。
- 建築物の屋上や御幸通りに面する外壁は、周辺建築物等からの潤いのある見下ろし景観や沿道景観を形成するため緑化に努める。

<sup>\*</sup>ビスタ：両側に並木や建築物などが並んだ奥行き深い眺めのこと。「通景」や「見通し景観」などともいう。



<p>2) 建築物等の色彩</p>	<p>○建築物の屋根及び外壁等の色彩並びに工作物の外観の色彩は、別表の伝統色を使用するものとする。</p> <p>ただし、着色していない木材、石及びコンクリート等の材料で仕上げられる部分の色彩並びに静岡市景観計画に基づく静岡市景観アドバイザーへの相談等により、市が支障なしと認めた色彩については、この限りでない。</p> <p>○外堀周辺の建築物及び工作物は、外堀の景観や印象を優先し、阻害しない色彩を使用するよう努める。</p>
<p>3) 沿道空間</p>	<p>○隣接する駿府城跡が醸し出す歴史文化や風格を、外堀からの緑の連続性や広がりにより江川町交差点に演出するため、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・江川町交差点に面した1階部分の店舗等は、鉢植えなどによる自主的な緑化に努める。</li> <li>・江川町交差点に面する空地部分は積極的な緑化を図る。</li> </ul> <p>○江川町交差点に面する低層部分は、ショーウィンドウ<sup>※</sup>や照明の活用により、昼夜ともに魅力ある景観の演出に努める。</p> <p>○隣接する駿府城跡の歴史文化や風格にふさわしい沿道景観を形成するため、歩道上への所有物（ゴミ入れ、置き看板など）の設置や路上駐輪をすることがないよう、敷地内にそれらのスペースを確保することで、歩道の美観とゆとりある歩行者空間の形成に努める。</p>
<p>4) 建築設備など</p>	<p>○建築設備や屋外階段は、建築物と一体的なデザインとすると共に、江川町交差点や外堀沿道から見えない位置に配置するよう努める。</p> <p>○江川町交差点や外堀沿道から見える位置に建築設備や屋外階段を配置する場合は、それらが直接見えないよう植栽や建築物の外壁と調和したルーバー<sup>※</sup>等により修景を行う。</p>
<p>5) 照明設備など</p>	<p>○御幸通りのビスタをより魅力的なものにするため、アイストップ<sup>※</sup>となる江川町交差点の建築物や植栽、ストリートファニチャー<sup>※</sup>等をライトアップし、夜間景観の演出に努める。</p>
<p>6) 屋外広告物</p>	<p>○屋外広告物は、隣接する駿府城跡と調和すると共に、効果的な掲出を行うよう文字、色彩、大きさ、設置位置等を十分検討すると共に、魅力的な店先やまち並みを演出するよう努める。</p> <p>○屋外広告物の色彩は、隣接する駿府城跡が持つ歴史文化や風格を阻害しないよう、彩度の低い色彩を使用するよう努める。</p> <p>○御幸通りのアイストップとなる壁面等については、御幸通りからのビスタを担う、景観上重要な場所であることから、隣接する駿府城跡の歴史文化や風格を阻害しないよう大きさ、色彩、材質に配慮するよう努める。</p> <p>○複数の店舗等を所有する建築物は、それら店舗等が効果的で駿府城跡と調和した屋外広告物を掲出できるよう、建築物の形態、意匠と合わせ、屋外広告物の掲出場所や方法を計画するよう努める。</p> <p>○江川町交差点に面した1階部分には、それら店舗等の情報を集約した集合看板を設け、魅力的な沿道景観の形成により集客するよう努める。</p>
<p>7) その他</p>	<p>○江川町交差点に面する工事用仮囲いは、隣接する駿府城公園が持つ歴史文化や風格を阻害しないように配慮し、また、まち並みや賑わいの連続性に配慮し、修景するよう努める。</p> <p>○自動販売機は、江川町交差点に直接面して設置しない。（ただし、景観上の配慮されている場合を除く）</p>

※ショーウィンドウ：店頭などに設置された商品などを陳列して通行人に見せるためのガラス張りの窓

※ルーバー：建築物の屋上の塔屋や建築設備などの目隠しのために縦または横に組んで取り付けられた羽板のこと

※アイストップ：見通しの良い通り景観の正面にあり、人の視線を引きつけ又は印象に残る建築物、樹木などのこと

※ストリートファニチャー：道路や道路沿いに設置されたベンチ、掲示板、彫刻、噴水などの屋外設備など

# 御幸通り景観形成基準

～江川町交差点から中町交差点～



「御幸通り景観形成方針」における景観形成の目標を実現するため、景観形成の方針及び方向性に基づく以下の景観形成基準により具体的な景観誘導を行うことで、短期、中期、長期及びその先の百年の計を目標とした景観形成を推進すると共に、後世に誇れる駿府の風格と都市の賑わいを感じる景観形成を段階的に推進する。

## 「江川町交差点から中町交差点」の地区別方針

現存する駿府城跡のお堀の石垣や水、緑が醸し出す歴史文化や風格と調和し、活かす景観形成を推進する。

## 景観形成基準

### 1) 建築物の 外壁・屋上

- 建築物の形態、色彩、意匠は、現存する駿府城跡の外堀の石垣や水、緑、また、赤鳥居（中町交差点）が醸し出す歴史文化や風格を優先し、それらと調和し、活かすデザインとするよう努める。
- 建築物の形態、色彩、意匠及び位置などは、まち並みと調和し、統一感のあるものとする。
- 御幸通りから見える低層部の壁面は、外壁形状、素材もしくは色彩にて分節し、周辺とその高さを揃えることで、まち並みとの調和及び一体性を図るよう努める。
- 御幸通りから見える建築物の側面は、正面の外壁と同様の材質を使用するなど、沿道景観への配慮を行う。
- 建築物の屋上や御幸通りに面する外壁は、周辺建築物等からの潤いのある見下ろし景観や沿道景観を形成するため緑化に努める。

2) 建築物等の色彩	<p>○建築物の屋根及び外壁等の色彩並びに工作物の外観の色彩は、別表の伝統色を使用するものとする。 ただし、着色していない木材、石及びコンクリート等の材料で仕上げられる部分の色彩並びに静岡市景観計画に基づく静岡市景観アドバイザーへの相談等により、市が支障なしと認めた色彩については、この限りでない。</p> <p>○外堀や赤鳥居周辺の建築物及び工作物は、それらの景観資源が持つ印象や色彩を優先し、阻害しない色彩を使用するよう努める。</p>
3) 沿道空間	<p>○隣接する駿府城跡が醸し出す歴史文化や風格を、外堀からの緑の連続性や広がりにより御幸通りに演出するため、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・御幸通りに面した1階部分の店舗等は、鉢植えなどによる自主的な緑化に努める。</li> <li>・御幸通りに面する空地部分は積極的な緑化を図る。</li> </ul> <p>○御幸通りに面する低層部分は、ショーウィンドウ*や照明の活用により、昼夜ともに魅力ある景観の演出に努める。</p> <p>○隣接する駿府城跡の歴史文化や風格にふさわしい沿道景観を形成するため、歩道上への所有物（ゴミ入れ、置き看板など）の設置や路上駐輪をすることがないように、敷地内にそれらのスペースを確保することで、歩道の美観とゆとりある歩行者空間の形成に努める。</p>
4) 建築設備など	<p>○建築設備や屋外階段は、建築物と一体的なデザインとすると共に、御幸通りから見えない位置に配置するよう努める。</p> <p>○御幸通りから見える位置に建築設備や屋外階段を配置する場合は、それらが直接見えないよう植栽や建築物の外壁と調和したルーバー*等により修景を行う。</p>
5) 照明設備など	<p>○建築物や植栽、ストリートファニチャー*等をライトアップすると共に、外堀周辺の街路灯や隣接する相互の照明との調和を図り、連続性のある魅力的な夜間景観の演出に努める。</p>
6) 屋外広告物	<p>○屋外広告物は、隣接する駿府城跡と調和すると共に、効果的な掲出を行うよう文字、色彩、大きさ、設置位置等を十分検討すると共に、魅力的な店先やまち並みを演出するよう努める。</p> <p>○屋外広告物の色彩は、隣接する駿府城跡が持つ歴史文化や風格を阻害しないよう、彩度の低い色彩を使用するよう努める。</p> <p>○赤鳥居周辺の屋外広告物の色彩は、赤鳥居の色彩を阻害しないよう、彩度の低い色彩を使用するよう努める。</p> <p>○複数の店舗等を所有する建築物は、それら店舗等が効果的で駿府城跡と調和した屋外広告物を掲出できるよう、建築物の形態、意匠と合わせ、屋外広告物の掲出場所や方法を計画するよう努める。</p> <p>○御幸通りに面した1階部分には、それら店舗等の情報を集約した集合看板を設け、魅力的な沿道景観の形成により集客するよう努める。</p>
7) その他	<p>○御幸通りに面する工事用仮囲いは、隣接する駿府城跡が持つ歴史文化や風格を阻害しないように配慮し、修景するよう努める。</p> <p>○自動販売機は、御幸通りに直接面して設置しない。（ただし、景観上の配慮されている場合を除く）</p>

※ショーウィンドウ：店頭などに設置された商品などを陳列して通行人に見せるためのガラス張りの窓

※ルーバー：建築物の屋上の塔屋や建築設備などの目隠しのために縦または横に組んで取り付けられた羽板のこと

※ストリートファニチャー：道路や道路沿いに設置されたベンチ、掲示板、彫刻、噴水などの屋外設備など

■建築物の屋根及び外壁等並びに工作物の外観に使用する伝統色

別表

生成り色 きなりいろ 3.6Y9.7/0.4	乳白色 にゅうはくしよく 8RP9.5/0.04	白練 しろねり 8RP9.5/0.04	素色 そしよく 9.1R9/0.4	桜鼠 さくらねず 4RP8.9/1	鴉鼠 ときねず 8.5RP8.5/1.5	薄梅鼠 うすうめねず 5.5RP8.5/0.6	灰梅 はいうめ 1.8YR8.5/1.9	灰桜 はいざくら 5.2R8.5/1.7	枯野色 かれのいろ 2.3YR8.1/0.7
霞色 かすみいろ 3.2RP7.8/0.7	潤色 うるみいろ 2.7YR7.8/0.6	銀鼠 ぎんねず 2.4P7/0.1	利休白茶 りきゅうしろちゃ 1.8Y7/1.1	薄鈍 うすにび 1.8R7/0.02	青白椽 あおしろつるばみ 6.5GY6.6/2.4	薄墨色 うすずみいろ 5Y6.6/0.1	深川鼠 ふかがわねずみ 9.1GY6.5/2.2	錫色 すずいろ 9.3B6.5/0.3	薄色 うすいろ 7.8P6.5/2.1
素鼠 すねずみ 7.8BG6.4/0.1	茶鼠 ちゃねずみ 5.7YR6.4/1.3	桔梗鼠 ききょうねず 2.7P6/0.8	鼠色 ねずみいろ 3.4P6/0.1	胡桃染 くるみぞめ 9.5R6/2	湊鼠 みなとねずみ 8.8BG6/1.9	豆がら茶 まめがらちゃ 3G5.9/1.1	鳩羽鼠 はとばねずみ 1.4R5.8/1.7	利休鼠 りきゅうねずみ 4.9GY5.7/1.4	生壁色 なまかべいろ 9.8YR5.4/2.5
江戸鼠 えどねず 0.8YR5.4/1.7	源氏鼠 げんじねず 5.6RP5.3/0.9	煤色 すすいろ 0.9YR5.2/0.9	藍鼠 あいねず 4.4B5.2/2.2	灰色 はいいろ 6.8RP5.1/0.04	鉛色 なまりいろ 5.3PB5/0.2	山鳩色 やまばといろ 4.6GY4.9/1.5	青鈍 あおにび 3G4.8/1.7	鈍色 にびいろ 1.7R4.6/0.1	錆鉄御納戸 さびてつおなんど 4.1B4.4/2.8
岩井茶 いわいちゃ 2.2GY4.4/1.8	紫鼠 むらさきねず 6.5RP4.3/1	柳煤竹 やなぎすすたけ 7.9GY3.9/1.3	墨 すみ 1.3YR3.6/0.1	井鼠 どぶねずみ 0.4R3.5/0.5	藍海松茶 あいみるちゃ 8.7Y3.5/0.9	藤煤竹 ふじすすたけ 1.6RP3.5/1	藍媚茶 あいこびちゃ 0.1GY3.4/1.2	海松茶 みるちゃ 8.5YR3.4/0.9	錆鼠 さびねず 1.3B3.5/1.4
革色 かわいろ 6.2G3.4/1.7	消炭色 けしずみいろ 6.3R3.2/0.4	黒椽 くろつるばみ 7.6R3.1/1	紅消鼠 べにけしねずみ 2.2R3/1.1	藍墨茶 あいすみちゃ 2.3PB3/0.5	千歳茶 せんさいちゃ 0.5GY3/0.7	檳榔子染 びんろうじぞめ 5.5R2.5/0.6	羊糞色 ようかんいろ 6.2BG2.4/0.3	黒緑 くろみどり 7.4GY2.1/0.5	黒鶯 くろとび 3.8R2.1/2
赤墨 あかすみ 9.5R2.1/1.4	百入茶 ももしおちゃ 9BG1.8/1.5	蠟色 ろういろ 6RP1.7/0.03	黒紅 くろべに 8.3P1.7/1.6	濡羽色 ぬればいろ 5.3GY1.2/0.8	鉄黒 てつくろ 0.4YR1.1/1.6	憲法黒茶 けんぽうくろちゃ 4Y1/2.5	暗黒色 あんこくしよく 0.1GY0.7/1.1	黒檀 こくたん 7.5R0.6/3.3	烏羽色 からすばいろ 5.6RP0.03/1.3

象牙色 ぞうげいろ 4.2Y9.5/1	女郎花 おみなえし 9.8Y9.3/4.8	灰白色 かいはくしょく 4.1Y9/1.2	練色 ねりいろ 3.1Y9/1.8	蒸栗色 むしぐりいろ 6.9Y8.8/4.2	枯草色 かれくさいろ 8.5Y8.6/6.1	浅黄 うすき 1.7Y8.5/4.2	砂色 すないろ 5.1Y8.4/2.5	亜麻色 あまいろ 9.1Y8/2.1	枯色 かれいろ 1.6Y7.9/4.7
白茶 しらちや 6.3Y7.7/3.7	白椀 しろつるばみ 1.9Y7.5/3.1	木蘭色 もくらんじき 5.1Y7.2/5.3	飴色 あめいろ 0.2Y7.4/6.5	赤白椀 あかしろつるばみ 2.5Y7.2/4.4	伽羅色 ぎやらいろ 5.5Y7/5.7	榛色 はしばみいろ 1.7Y6.7/4.6	青朽葉 あおくちば 7.9Y6.5/6.4	桑染 くわぞめ 2.8Y6.4/5.4	江戸茶 えとちや 3.7Y6.3/6.7
黄土色 おうどいろ 10Y6.2/7.2	利休茶 りきゅうちや 4.3Y6.1/4	灰汁色 あくいろ 3.5Y6/2.3	油色 あぶらいろ 5.1Y6/4.1	黄唐茶 きがらちや 9.9Y6/6.5	黄椀 きつるばみ 0Y6/6	遠州茶 えんしゅうちや 9R6/6.7	鴉浅葱 ときあさぎ 5.1R6/4.3	柴染 ふしぞめ 4.1Y6/4	梅染 うめぞめ 0.5Y6/4
槲色 はじいろ 2.1Y5.6/6	丁子茶 ちょうじちや 1.9Y5.8/4.6	空五倍子色 うつぶしいろ 9Y5.7/2.8	根岸色 ねぎしいろ 7.9Y5.6/5.1	鶯色 うぐいすいろ 9.1Y5.6/6.7	芝翫茶 しかんちや 6.2Y5.5/5.5	丁子染 ちょうじぞめ 6.2Y5.5/5.7	焦香 こがれこう 3.3Y5.5/5.2	枇杷茶 びわちや 5.1Y5.5/5.6	鶺鴒茶 ひわちや 7.9Y5.5/3.1
黄海松茶 きみるちや 6.5Y5.4/4.1	利休色 りきゅういろ 4.6Y5.4/2.6	胡桃色 くるみいろ 2.2Y5.1/5.8	砺茶 とのちや 1.2Y5/4.8	宗伝唐茶 そうでんからちや 8.3R5/4.9	蘇芳香 すおうこう 5R5/5.9	緒 そほ 8.8R5/4.9	肥後煤竹 ひごすすたけ 1Y5/2.9	朽葉色 くちばいろ 9.2Y4.9/4.3	桑茶 くわちや 1Y4.8/6.19
路考茶 ろこうちや 0.1Y4.7/4.4	灰茶 はいちや 3.1Y4.5/5.8	渋紙色 しぶかみいろ 2.1Y4.5/5.2	銀煤竹 ぎんすすたけ 0.8Y4.5/2.9	国防色 こくぼうしょく 4.3Y4.4/3.9	海松色 みるいろ 7.9Y4.4/3.7	煎茶色 せんちやいろ 0.6Y4.4/4	枯茶 からちや 2.5Y4.4/4.3	檜皮色 ひわだいろ 9.3R4.1/6.9	茶色 ちやいろ 7.1R4.1/6.8
小豆色 あずきいろ 5.2R4.1/6.6	媚茶 こびちや 0.8Y4.1/2.6	榉茶色 かばちやいろ 6.6Y4.1/2	黄枯茶 きがらちや 3.9Y4/2.9	瑞寛茶 りかんちや 6.4Y3.8/4.8	煤竹色 すすたけいろ 6.1R3.6/2.9	焦茶 こげちや 8.8R3.4/3.6	唐茶 からちや 1.1Y3.1/6.2	赤褐色 せっかっしょく 7.1R3/4	栗皮茶 くりかわちや 7R3/4.8
茶褐色 ちやかっしょく 9R3/3.8	錆色 さびいろ 8.6R2.8/5.5	涅色 くりいろ 6.1Y3/1.8	憲法色 けんぽういろ 1.9Y2.7/2.2	葡萄茶 えびちや 4.1R2.6/6.3	黒茶 くろちや 2.8Y2.6/3.5				